



デジタル研修教材（e-コンテンツ）ラインナップ（一部）



子どもの人権

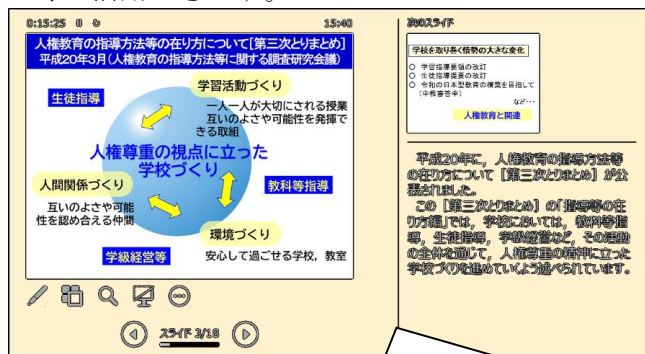
同和問題(部落差別)

アイヌの人々の人権

犯罪被害者等の人権

人権尊重の精神に立つ学校づくりの推進
(国の動向等を踏まえて)

デジタル研修教材（e-コンテンツ）とは
人権課題ごとに視聴できるプレゼンテーションデータで、職員研修や個人研修、家庭教育学級等で活用できます。



18のコンテンツがあります。各コンテンツには、スライドで伝えたいことがより深く理解できるよう口述を付けています。



デジタル研修教材（e-コンテンツ）の活用
職員研修以外でも、次のような活用をすることができます。

【具体的な活用事例】

- 学年会や教科部会で、「同和問題（部落差別）」や「アイヌの人々の人権」のコンテンツを活用して、社会科の授業づくりを行う。
 - 学校保健委員会で、「性的指向・性自認」のコンテンツを活用して、学校の支援体制について協議する。
 - 家庭教育学級で、「子どもの人権」のコンテンツを活用して、子どもたちとの向き合い方について考える。
- ※ 保護者や地域の実態に応じて、補足が必要です。



No. 18「人権尊重の精神に立つ学校づくりの推進（国の動向等を踏まえて）」の活用例

人権尊重の精神に立つ学校づくりについて、学習指導要領、生徒指導提要、中教審答申を踏まえて、10分程度で学ぶことができます。

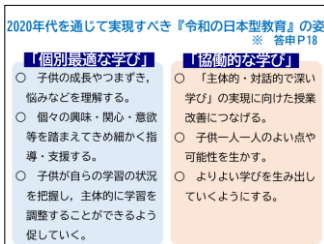
(1) 人権同和教育に係る校内研修での活用例

- 1 学習指導要領を踏まえて
- 2 生徒指導提要を踏まえて
- 3 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）を踏まえて

- ① 人権教育担当者がスライドを活用して全体に説明を行う。
- ② グループに分かれて、人権尊重の視点に立った学校づくりに向けて、どのようなことに取り組むとよいか協議する。

- ③ 協議した内容等を職員室に掲示することで、共有化を図り、常時、振り返ることができるようにする。

(2) 年度当初の校内研修での活用例



年間の研修計画を確認する際に、スライドの「学習指導要領を踏まえて」と「中教審答申を踏まえて」を活用して、人権尊重の精神を全教育活動の基盤に据えることを共通理解する。

(3) 生徒指導部会（生徒指導連絡会）での活用例

スライドの「生徒指導提要を踏まえて」を活用して、「児童の権利に関する条約」について理解を深めた上で、校内外の支援体制等の情報を共有する。



※ 生徒指導部会のイメージ



鹿児島県教育委員会／人権教育デジタル研修資料